

いしかりちほん

発行
2012年2月29日
12-5号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上 真仁
TEL:011-747-1880



第115回中央委員会

**全単組で労使関係ルールに
関する要求書提出**
**現場の声を反映させた
政策実現めざす**
**政治闘争
春闘方針**

自治労北海道本部は、2月3日、中央委員会を開催し、この間各単組・地方本部で組織討議を行ってきた春闘や当面の闘争方針について議論を行った。

冒頭の挨拶で山上執行委員長は働く者の諸情勢について触れ、国家公務員制度改革関連4法案については「先が見通せない状況であるが、自立的労使関係の確立に向け、春闘期から取り組みをしていただきたい」と述べ、また、政治闘争では「自治労のめざす社会や政策の実現に向け、相原参議を擁立する。組織の総力を挙げてたたかいていく」と決意を語った。



新任の挨拶をする居橋
新執行委員(札幌病協)

第5号議案では、第23回参議院議員選挙に臨む具体的方針が示され、相原久美子現議員を引き続き擁立し、推薦決定を行う組織全体で取り組むことが確認された。



あいらくみ 国政報告会

2月10日、KKRホテルにて、あいらくみ国政報告会が開催された。自治労を代表して山上委員長が挨拶に立ち、「民主党を取り巻く諸情勢は厳しく前回同等の票獲得は困難かも知れないが、相原さんの決意を受けて組織の総力を挙げて必ず勝つという決意である。」と述べた。続く国政報告会では、な

公共サービスの『族議員』に

権交代をしてもなかなか期待にこたえられない状況を報告しながら、「公共サービスは公務員だけが携わっているのではない、多くの人が支えている。そういう意味で自分は公共サービスの族議員となる。」と語り、「もう決して前政権に戻すわけにはいかない。一つ一つでも着実に活動を続けていく。」と決意を語った。

2月18日、かである北大名誉教授小野有五氏ら3名が発言し、その一人でもある作家の倉本聰氏は、「『さような生活の工夫でエネルギー消費を縮小しなければならぬ』と述べ、「企業や、北

いる。新しい物差しについては現時点で明らかではないが、情報提供をしていた。また、「あいはらの出身単組として精一杯がんばるので協力をお願いします」と各単組の協力と呼びかけた。第8号議案では新役員の選出が提起され、

石狩地本からは道本部執行委員として、札幌病協出身の居橋真人氏が選出された。居橋氏は新役員の挨拶で、「執行委員として様々な課題に正面から向かっていきたい」と決意を語った。最後に、脱原発運動強化、再生エネルギー中心の社

2.18北海道集会

市民も意識改革を!!

2月18日、かである北大名誉教授小野有五氏ら3名が発言し、その一人でもある作家の倉本聰氏は、「『さような生活の工夫でエネルギー消費を縮小しなければならぬ』と述べ、「企業や、北

★書記局から★
各種集会在続中、ご参加いただいた組合員の皆様には、心より感謝いたします。(む)



テモ行進する
石狩地方本部参加団